



JR東日本輸送サービス労働組合
JTSU-E千葉エリアプロジェクト



2024,11,27 No.028



JR東日本輸送サービス労働組合
JTSU-E千葉エリアプロジェクト
船橋統括センター分会

2024,11,27

Enjoy 船橋



No.001

八王子、大宮、東京から千葉の地へ
12月1日の職場発足を前に
輸送サービス労組運動をスタート!!



JR 東日本千葉支社管内の職場で初めての分会 船橋統括センター分会 結成

結成宣言(案)

私たち JR 東日本輸送サービス労働組合船橋統括センター分会は、ここ越谷コミュニティセンターにおいて結成大会を開催し、新たに「千葉の地」において分会を立ち上げた。そして安全で健康に働きやすい職場を目指し、組織の強化・拡大に向けて輸送サービス労組運動をつくりだすことを確認した。

私たちは 2020 年 2 月、「誰一人取り残さない」を合言葉のもと輸送サービス労組を立ち上げた。そして 5 年目を迎えて新たな分会が新たな地からスタートする。様々な場所から様々な経験をした組合員が集まった分会だ。全組合員の英知と力を結集させて職場運動をつくり出し、たたかいを押し進めよう!

JR 東日本会社は基地再編や統括センター化、京葉線のダイヤ改正にみどりの窓口問題など、団体交渉などを含めて横柄かつ強引な姿勢で施策をすすめている。それは結果として、社員や利用者が被害や損を受ける事態となっている。これは経営陣が無責任な姿勢で、地に足がつかない状態での机上の空論をならべて実行させているからである。そして社員現場では機械が安全を担保するから良いという発言を行い、長編成ワゴン化を強行させるつもりだ。しかしワゴン運転の事を、会社は隠ぺいしと改ざんしているのを我々は知っている。施設なども含めて現在も人命にかかわる事故・事象を多発させている。ジョブローテーションなど施策の失敗による「人員不足」を免罪符に、不安全な施策の実行を許してはならない。利用者・地域との連携で反対することははっきり反対し、安全性の向上と職場環境の改善で安心して働きやすい職場と会社をつくりだそう!

過半数代表者選挙が船橋統括センター発足に伴い、実施が予想される。池袋の事象において会社は社友会が偽組織であり、そして代表者を立候補させていることが明らかになった。これはれっきとした違法行為である。しかし問題にするのは我々組合側ばかり問題視にし、これのどこが公平で公正な選挙なのか疑問と怒りしか湧かない。現実として社友会が代表の職場は、労働環境が良くない。会社の主理による違法代表者なのだから、村度ばかりで職場の過半数代表としてふさわしくない。安全の確保と職場環境の改善を任せるにふさわしいのは誰なのか。自信と確信をもって未加入者や他労組と議論して当選させよう!

乗務距離は年々伸び、拘束時間は拡大。融合と連携や統括センター化などによって、労働の複荷が追われ負担は増える一方である。今年は2015年あたりでは業績が改善したが、年末手当はまさかの2.9か月という低額回答であった。2015年の手当は3.18か月であり、その違いは何か。「組合組織の加入」である。会社の評価を気にするより、この現実と社友会の無力さをしっかりと未加入者に考えさせなければならない。

船橋統括センター分会は、多くの社員の共感を得るような運動を全組合員と、千葉に集う仲間と共に大きくつくり出し、「働きやすく」「笑顔あふれる」「仲間を大切に」組織の強化と、拡大を実現していこう!

以上、宣言する。

2024年11月26日
JR 東日本輸送サービス労働組合
船橋統括センター分会
結成大会



結成年度執行体制

執行委員長	藤田 真樹
執行副委員長	後藤 亨
執行副委員長	高橋 武史
事務長	横田 千尋
執行委員	木内 肇
執行委員	泥谷 雄介
執行委員	倉田 徹
会計監査員	保科 信彦

明るく楽しく元気よく働ける
船橋統括センターと
組合員の拠り所となる分会を
みんなで作ろう!!

千葉の地でも組合員の奮闘によって、
輸送サービス労組運動が着実に前進!